

生まれ変わる山大病院

山口大学医学部附属病院は、国立大学附属病院としては「トップランナー」となる2回目の再開発整備事業に着手しています。

再開発整備事業では、「教育・研修」「研究開発・先進医療」「地域医療推進」「病院基盤強化」を基本戦略に掲げて、A棟の建設を2019年に完了し、現在既存施設の改修を進めています。

B棟(第1病棟)およびC棟(新中央診療棟)の改修は、A棟(新病棟)との連携強化によるシナジー(相乗効果)を生み出し、また人流を意識した外来診療棟の改修により、附属病院全体の機能向上を実現します。



C棟 整備概要

人流を意識した骨格づくり



●人・物の流れをスムーズにする「ホスピタルリンク」

既存棟全体の主導線を回遊動線として再整備することで、病院全体をスムーズに行き来できるようになり、医療機能の連携が強化されます。また、患者さんが迷うことなくスムーズに院内を移動できるようアートやサインを効果的に配置します。B棟C棟のクロスラウンジには、ホスピタルアートを整備し、くつろぎの空間を提供します。



1Fクロスラウンジイメージ図

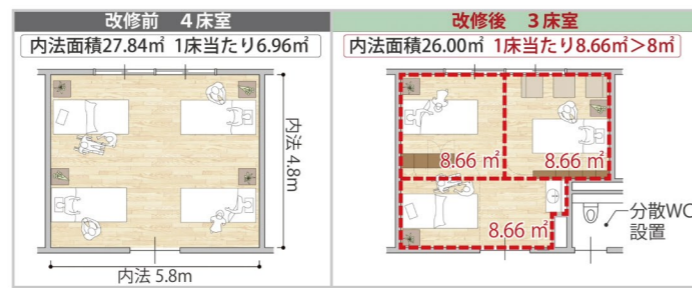


外来診療棟エントランスホールイメージ図

B棟 整備概要

●4床室から3床室へ

すべての病室を4床から3床にすることで、患者さんにゆったりと過ごしていただけるようになります。また、療養中のプライバシーを保護するために、レイアウトを整備、独立した処置室を設置。快適な療養生活を過ごすことができるように各部屋を整備します。



4床室と3床室の平面図比較



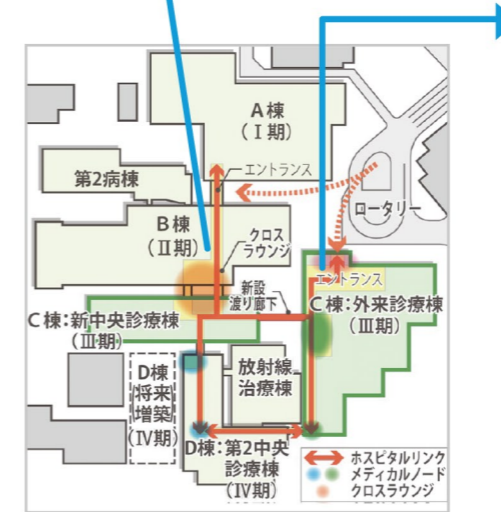
スタッフステーション(第1期工事完了箇所)



3床室イメージパース(2023年2月末完成予定)

●患者見守り

患者さんの安心感を高め、職員の見守りやすさを向上させるため、重症エリアをスタッフステーションに隣接させました。また、目の届きにくい離れた場所には、サテライトステーションを設置し患者さんとの距離を近づけました。



新病棟の詳細は…

山口大学 再開発

検索

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>



院内に新たにホスピタルアートを設置

現在再整備事業を行っているB棟とC棟の壁面に、山口大学教育学部美術教育選修3、4年生11名の絵画作品を設置しました。工事のための間仕切り等で大変ご不便をおかけしていますが、患者さんに少しでも心安らぐ空間となるように各所に展示しています。

